

時津町は「家読」を推進しています

たまには テレビをけして

ようじむ 2025年 ねん あきごう
幼児向け 2025年 秋号



とぎつちょうりつとぎつとしょかん
発行：時津町立時津図書館

うちどく 家読とは

家族みんなで好きな本を読んで、読んだ本について話す。これが「うちどく（家読）」です。難しいルールは要りません。家族みんなでルールを決めてはじめてみましょう。

家族で同じ本を読みあったり、おとうさんやおかあさんに読み聞かせをしたりと楽しい時間を過ごしましょう。



Illustrator ATSUKO



「あてっこどうぶつずかん だれ」
あべ 弘士//作 絵 (KADOKAWA)

「〇〇なのはだれ」

クイズで動物についてくわしくなろう。

もんだい すす せんたくし おお もんだい むすか
問題が進むにつれて、選択肢が多く問題も難

しくなっていくよ！いくつ正解できるかな？

かそく 家族でよんだらきっと盛り上がる。

よ 読み聞かせにもぴったりです。



「とっくんトラックもりへぶぶー」
いわむら かずお//作 絵 (ひさかたチャイルド)

“とっくん”はトラックのおもちゃをひきながら、森の中をどんどん進んでいきます。秋の森にはたくさんの木の実が落ちていて、それをトラックにどんどん積んでいって…。季節を感じられて、秋の森を散歩したくなる絵本です。



「はっけよーい」
ケロポンス//作 いぬんこ//絵
(ポプラ社)

「はっけよーい、のこった！」

かわいい動物たちとおすもうで勝負だ！

最初はねずみちゃん、次ににわとりくん、

そしてくまちゃん。せまってくるどうぶつた

ちに勝てるかな？“エピカニクス”などで

大人気ケロポンスによる何度も読みたくなる

絵本です。



「えをかくかくかく」
エリック カール//作 アーサー ビナード//訳
(偕成社)

☆パパ&ママへ

ぼくは絵かきになる。そして絵を描く。青

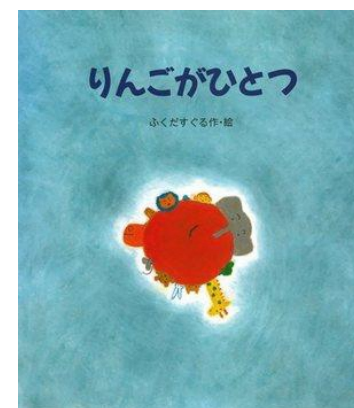
い馬、黄色い牛、オレンジ色のゾウ。図鑑に

はこんな色の動物たちはいないけれど、それ

でいい。どれも素敵で、カッコイイ。

こどもの独創的で豊かな感性を育む絵本

です。



「りんごがひとつ」
ふくだ すぐる//作 絵
(岩崎書店)

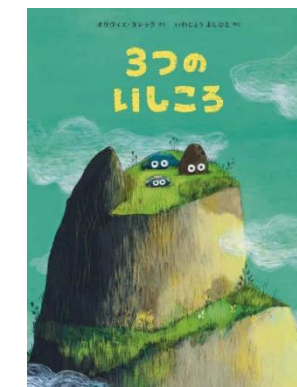
おなかをすかせたどうぶつたちの前に、りん

ごがひとつ。すると、おさるがりんごをもって

にげてしまったよ。にげるおさると、おいかけ

るどうぶつたち。かわいい動物たちのくすっと

笑えて、ほっこりする物語です。



「3つのいしころ」
オリヴィエ タレック//さく
いわじょう よしひと//やく
(BL 出版)

三つのいしころが山のてっぺんで、じーっとくらしていた。風に吹かれ、遠くの山々をながめながら、それはそれで幸せな暮らしだった。ところが、ある日、雷がゴロゴロとなつて、山のてっぺんに落ちた。いしころたちはその拍子にごろんと転がり、居心地のいいてっぺんを追い出されてしまった。でもそれは、これからつづく冒険の始まりに過ぎなかった。